

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科グランドハンドリングコース)										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習Ⅰ	「自律」をテーマに自ら考え、行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	1通	84	2	○		△
○			キャリア開発実践Ⅰ	就職活動を見据え、自分の考えを整理して的確に言葉で表現する力を、実践的な面接演習を通して習得する。	1後	30	1		○	
○			情報Ⅰ-①②	PCの基本操作から、実務で役立つワード・エクセルの活用法までを実践的な演習を通して身につける。	1通	68	2	△	○	
○			英語コミュニケーションⅠ	トピックに沿ったダイアログで英語でのアウトプットを行い、基本的な英会話力を身に着ける。	1通	36	1		○	
○			沖縄観光概論Ⅰ	沖縄の歴史・文化を知り、また実習を通して自身のルーツを発信していく知識を養う。	1前	30	2	○		△
○			ヒューマンエデュケーションⅠ(志学Ⅰ)	社会から必要とされ続ける“人財”となるべく思考、習慣を身につけていく。	1前	34	2	○	△	
○			ビジネスマナーⅠ	挨拶や敬語、電話応対、来客接遇などの基本動作を習得。社会人としてのマナーを実践的に学び、円滑な対人関係を築く力を養う。	1通	38	2	○	△	
○			エアライン実務Ⅰ	日本の航空業界の構造や各社の役割、各部署の具体的な業務内容を学習し、航空従事者としての高度な専門性と知識を習得する。	1前	40	2	○	△	
○			実用英語Ⅰ	5技能の総合的な英語力の向上を図り、英検またはTOEICの取得目標達成を目指す。	1前	36	1	○	△	
○			ListeningⅠ	英語リスニングスキルの向上を目的とし、シャドーイング・ディクテーションを行う。	1前	30	1	○	△	
○			GrammarⅠ	英文法の基礎を固め、文法的に正確な英文を作成する能力を身に着ける。	1前	24	1	○	△	

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科グランドハンドリングコース)										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Reading & Vocabulary I	基礎的な英語を使った文章を多読することで、語彙力の増強と読解力を身につける。	1前	30	1	○	△	
○			ビジネス基礎能力 I	SPIや一般常識など、就職筆記試験対策を基礎から応用まで習得。特にSPI等の数学・非言語分野を徹底的に学ぶ。	1後	16	1	△	○	
○			グランドハンドリング研修 I	企業講師の指導と空港実習を通じ、航空実務の作業手順や規則を学び、現場への適応力を高める。	1通	70	1	△		○
○			グランドハンドリング実習 I	航空会社でのインターンを通じ、手荷物・貨物・機内サービス等の実務を体験。現場指導で空港業務を習得する。	1通	110	3	△		○
○			危険物法令学	消防法における危険物の分類、指定数量、製造所等の設置・維持基準、および危険物取扱者制度について、法的遵守事項を正しく習得する。	1通	37	2	○	△	
○			危険物物理学	燃焼の三要素や消火理論、物質の状態変化、静電気の発生メカニズムなど、危険物の取り扱いに不可欠な基礎科学の知識を習得する。	1通	36	2	○	△	
○			危険物性質学	各類危険物の共通特性と代表的な物品の個別性質を学習。危険性に応じた適切な貯蔵方法、火災予防対策、および消火方法を身につける。	1後	30	2	○	△	
○			エアポート実務 I	航空用語や特殊車両の特性など、地上支援業務の専門知識を習得。実戦的な学びを通じて、入社後のキャリア形成へと繋げる。	1後	30	2	○	△	
○			チームベースプロジェクト	学園祭の企画・運営を通じ、計画性や組織での責任感、現場での実践的な対応力を主体的に養う。	1前	36	1	○		△
○			国際航空貨物取扱基礎	航空貨物輸送の法規制・実務を学び、即戦力を養う。	1前	35	2	○	△	
○			フィジカルトレーニング実習 I	航空業務に必要な体力を養うため、筋力や柔軟性の基礎トレーニングを実践。	1前	30	1		○	
1年次合計				単位時間		910 時間				

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科グランドハンドリングコース)										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	2前	44	1	○		△
○			ヒューマンエデュケーションⅡ(志学Ⅱ)	社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考える。	2前	30	2	○	△	
○			情報Ⅱ	Excel・Word、PowerPointによる資料作成術を習得。就職に向けた高度な事務処理能力と実践力を養う。	2前	30	1	△	○	
○			航空無線実務	電波法の無線局制度や規則を学び、航空現場での運用を理解するとともに、航空特殊無線技士の資格取得を目指す。	2前	56	3	○	△	
○			実用英語Ⅱ	5技能の総合的な英語力の向上を図り、英検またはTOEICの取得目標達成を目指す。	2前	73	2	○	△	
○			英語コミュニケーションⅡ-①	ビジネス上の様々なシーンを想定したアウトプットを総合的に行い、実践的な英語力を養う。	2前	20	1	△	○	
○			キャリアデザインⅡ	「入社前研修」を控え、業界での専門的知識の復習や社会人として必要な知識を再度学習し、スムーズに研修に臨めるようにする。	2前	37	2	△	○	
○			グランドハンドリング実習Ⅱ	空港に関する関係法規とその内容を理解し、航空機地上支援業務の知識を高める。また、空港現場の事故事例について「KYT」を活用して、事故防止策を習得する。	2前	40	1	○		△
○			ビジネスマナーⅡ	充実したキャリアビジョンを構築するため、社会人に必要な、コミュニケーション能力、仕事の基本、人間関係、ビジネスツールなどの知識を習得し、検定3級取得を目指す。	2前	52	3	○	△	
○			チームベースプロジェクト	学園祭の企画・運営を通じ、目標達成に向けた計画性と、組織の中で役割を果たす責任感、および現場での実践的な対応力を養う。	2前	36	1		○	
○			フィジカルトレーニング実習Ⅱ-①	航空業務に必要な体力を養うため、筋力や柔軟性の基礎トレーニングを実践。	2前	30	1		○	

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科グランドハンドリングコース)										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エアポート実務Ⅱ	航空用語や特殊車両の特性など、地上支援業務の専門知識を習得。実戦的な学びを通じ、入社後のキャリア形成を図る。	2前	43	2	△	○	
	○選1		総合学習Ⅱ-②	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	2後	152	5	○		△
	○選1		英語コミュニケーションⅡ-②	ビジネス上の様々なシーンを想定したアウトプットを総合的に行い、実践的な英語力を養う。	2後	30	1	△	○	
	○選1		実用英語Ⅱ-②	5技能の総合的な英語力の向上を図り、英検またはTOEICの取得目標達成を目指す。	2後	56	1	○	△	
	○選1		危険物取扱学	危険物に関する法令、基礎物理・化学、各物質の性質を習得。安全管理の専門知識を養い、危険物取扱者試験の合格とを目指す。	2後	58	3	○	△	
	○選1		沖縄観光概論Ⅱ	沖縄の自然・歴史・文化を深く理解し、ビーチや世界遺産、食などの多彩な魅力を観光客へ伝える知識を学ぶ。	2後	22	1	○		△
	○選2		チャレンジインターンシップ	講義等で得た知識を実践の場で体験を行う事を目的とする。就職を意識し企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修を実施する。	2後	318	10			○
2年次合計				単位時間	809 時間					

※ 選1若しくは選2を選択

合計 25 科目	単位時間	1,719 時間
----------	------	----------